

NEWS RELEASE

ローカル5G実証実験について

当社は、ローカル5Gに関する活用ノウハウや利用技術の獲得を目指して、総務省からローカル5Gの実験試験局免許を取得し、四国電力送配電株式会社と共同で実証実験を進めております。

ローカル5Gは、企業や自治体が自らの建物や敷地内で独自に構築できる無線ネットワークで、地域の課題解決や社会インフラを支える技術として注目が高まっています。

今回の実証実験では、オフィス、工場、プラント等でのローカル5G活用を想定し、屋内外の様々な実フィールド環境で5G電波の伝搬特性の測定や通信エリア設計の検証を行うとともに、ローカル5Gを利用したアプリケーション実験や、現在有線で提供している通信サービスのラストワンマイルへの適用実験などを行います。

具体的には、実証実験の第一弾として、四国電力株式会社の施設において、電波の伝搬特性を測定する実験や、実際の発電所での設備点検作業をスマートグラスと組み合わせることにより遠隔で支援する実験等を行っております。

当社は、今後も実証実験を通じて知見やノウハウを積み重ねるとともに、ローカル5Gと当社クラウド等のICTサービスを組み合わせるなど、お客さまのニーズにお応えできるサービスの提供について検討してまいります。

【 実証実験の概要 】

1. 実験期間 2020年12月(一部は9月)～2021年3月(予定)
2. 実験場所 当社(香川県 高松市) および
四国電力株式会社
坂出發電所(香川県 坂出市)、総合研修所(同 高松市) 等
3. 実証実験の内容
 - ・電波の伝搬実験
 - ・ローカル5Gを利用したアプリケーション実験
 - ・通信サービスのラストワンマイルへの適用実験 など

4. 使用周波数

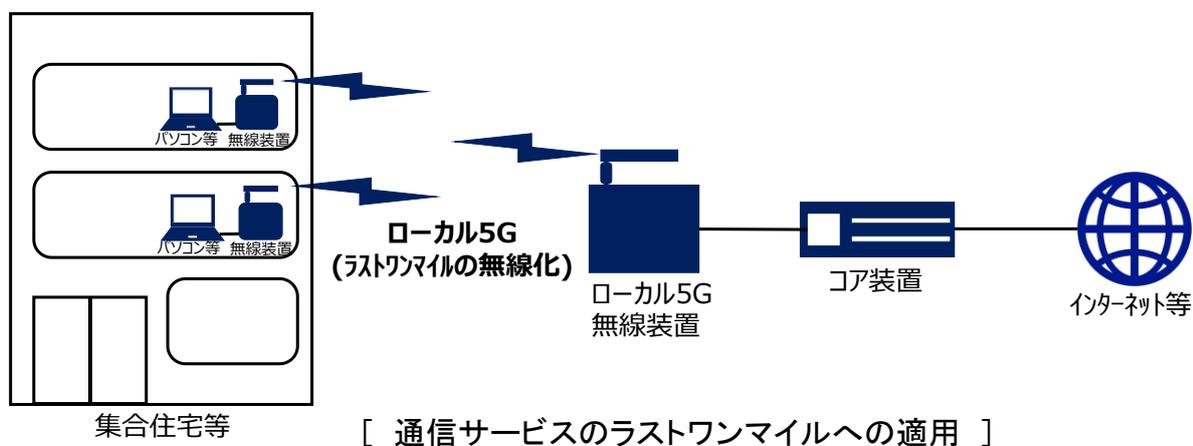
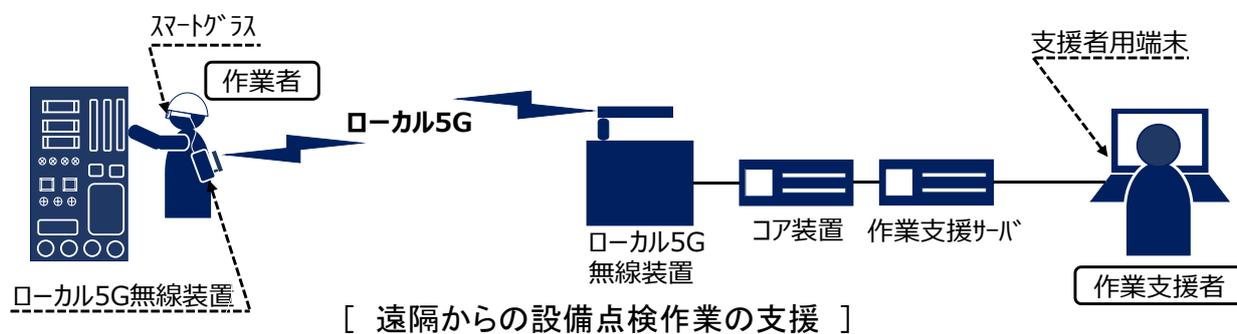
今回の実証実験においては、ローカル5G で使われる SA^{※1}と NSA^{※2}の2つの方式において、以下の周波数を用いた実験を行うことで、電波伝搬等の特長を把握することとしています。

- ・SA システム 4. 5GHz帯
- ・NSA システム 4. 5GHz帯、28GHz帯、2. 5GHz 帯(4Gシステム)

※1 SA (Stand Alone) : 5G 基地局のみで構成され、本来の5G の能力が発揮できる方式

※2 NSA (Non Stand Alone) : 現行の公衆5Gサービスで採用されている、従来の4G基地局との併用が必要な方式

【 実証実験イメージ 】



本発表に関するお問い合わせ先

株式会社STNet 経営戦略部 広報課	[電話]087-887-2403 [URL]https://www.stnet.co.jp/	[Email]kouhou@stnet.co.jp
------------------------	---	---------------------------

実験についてのお問い合わせ先

株式会社STNet 研究開発部(寺井)	[電話]087-887-2403 [URL]https://www.stnet.co.jp/	[Email]iot@stnet.co.jp
------------------------	---	------------------------